

こんじゅう かみ こひつじ 今週のことば「神の小羊」

せいしょ ふくいんしょ
《聖書》ヨハネによる福音書 1:29-34

かみ こひつじ せんねいしゃ こと
「神の小羊」という洗礼者ヨハネの言
葉を理解するためには、旧約聖書で「小
羊」の出てくる箇所を参考する必要があ
ります。

しゅつ き しゅう すぎこし こひつじ
出エジプト記12章には、過越の小羊の
はなし で たみ
話が出てきます。イスラエルの民がエジ
プトで奴隸として生活して苦しんでいた
とき かみ たみ かいねり かく
時、神はその民を解放しようとして、各
いえ きす いっさい おす こひつじ いととう
家で「傷のない一歳の雄の小羊」を一頭
よる た ち
づつほり、夜それを食べて、その血を
いえ と ぐち
家の戸口のかまちとかもいにぬるように
めい
と命じました。このしるしのために、イ
スラエルの人々はすべての長男を殺すた
めに来た「滅ぼす者」の手からのがれ
事ができました。イスラエルの人々は、
でき こと きねん しゅ すぎ
この出来事を記念するために、主への過
ごし さしき まも づけ
越のいけにえをしてこの儀式を守り続け
ているのです。

き しゅう つみ
またレビ記5章では、罪のあがないと
こひつじ
して、小羊をささげるようといいういま
さだ
しめが定められています。

こひつじ でんとう くわ
さらに、この小羊の伝統に加えて、イ
レ で しゅ しもべ すがた なか
ザヤ書に出てくる主の僕の姿の中にも、
こひつじ えが
小羊が描かれています。

くえき か
『苦役を課せられて、かがみ込み
かれ くち ひら
彼は口を開かなかった。

ほふ ば ひ こひつじ
屠り場に引かれる小羊のように
け かへ もの まえ もの い ひつじ
毛を刈る者の前に物を言わない羊のよ

うに

かれ くち ひら
彼は口を開かなかった。』(53:7)
しもべ すがた あと
この僕の姿は、後にキリスト者が、イ
すがた もっと ちか
エスの姿に最も近いものとして受けとめ
こと しと げんこうろく
たものです。この事は、使徒言行録8:26
はなし なか
-40の話の中ではっきりと伝えられてい
しゅ しもべ おお ひと つみ せお
ます。主の僕は、多くの人の罪を背負い、
ひとこと もんく い こと
あがなうために、一言も文句を言う事な
し
く死んでいきます。

ふくいんしょ つた
ヨハネによる福音書に伝えられている
はなし とお じゅうじか ころ
話を通して、十字架にかけられて殺され
あたら すぎこし こひつじ こと
たイエスが、新しい過越の小羊である事
を伝えようとしているのです。昔、小羊
ち たみ すぐ
の血によってイスラエルの民が救われた
こんど かみ こひつじ
よう、今度は神の小羊であるイエスの
ち なが こと ひとびと すぐ
血が流される事によって、人々が救われ、
かみ めぐみ こと しゅちょう
神の恵にあずかる事ができたと主張され
ています。

ちゅうど ふくいんしょ か
丁度、ヨハネによる福音書が書かれた
ねん ねんこう だれ
90年から100年頃、イエスは誰であ
るかという議論がありました。つまり、
じんせい しんせい もんたい
イエスの人性と神性という問題です。イ
エスは人として生活しましたが、又、初
かみ
めから神とともにあり、神であるとヨハ
ネによる福音書は主張しているのです。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきの
年間第2主日A年(滝野)